

2016年



ふそう

発行: 扶桑町議会
編集: 議会だより編集委員会
〒480-0102
愛知県丹羽郡扶桑町
大字高雄字天道330
TEL: 0587-93-1111
FAX: 0587-92-1381
E-mail: gikai_sc@town.fuso.lg.jp
発行日: 平成28年9月1日

議会だより

第227号



ふれあい七夕まつり会（柏森南保育園）

5
月
臨
時
会

6
月
定
例
会

■ 6月定例会の概要	 2P・3P
■ 5月臨時会の概要	 3P
■ 委員会の審議から	 4P
■ 一般質問	 5P～12P
■ 一般質問とは・行政視察の準備	 13P
■ 意見書	 14P

第5次扶桑町総合計画の策定に着手 保育園・小中学校の施設整備にも注力

6月定例会の概要

平成28年6月定例会は、10日から29日まで開催されました。
今回の定例会では、一般会計補正予算・特別会計補正予算を始め、条例の改正や陳情など21案件の審議を行いました。

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億4361万円を追加し、総額94億9692万円となっています。主な内容は、次のとおりです。

「賛成12人反対2人で可決」

歳入（万円未満切り捨て）

固定資産税現年課税分

2311万円

店舗・工場・注文住宅などが、当初予算積算と比較して多かつたため増額します。

歳出（万円未満切り捨て）

地域自治振興費（臨時）

117万円

地域公民館修繕に係る

補助金の必要に伴い増額します。

第5次扶桑町総合計画策定事業費

762万円

平成30年度から39年度までを対象期間とする総合計画（※本町のすべての計画の基本、行政運営の総合的な指針となる計画）を策定します。

年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費（障害・遺族年金受給者）

2491万円

国の政策を実施します（国庫補助金を充当）。
臨時福祉給付金事業費

2444万円

国の政策を実施します（国庫補助金を充当）。
児童遊園整備費

259万円

児童遊園2個所に、防球ネットを設置します。
保育所施設整備費

1343万円

複数の保育園にて、エアコン入れ替え工事、厨房設備等入れ替え工事、暖房設備等改修工事を行います。

予防接種事業費

591万円

B型肝炎ワクチンの予防接種の定期接種化に伴い増額します。



単県土地改良事業費

1600万円

村田排水路整備事業に

に伴い、既存の取水ゲートの改修工事を行います（県補助金を充当）。
都市公園整備事業費

720万円

木曾川扶桑緑地公園、高雄公園、柏森駅前公園に防犯カメラを設置します。柏森東山緑地公園の樹木の剪定を行います。
小学校校舎施設営繕工事費

487万円

4小学校の遊具改修工事等を行います。
中学校校舎施設営繕工事費

160万円

扶桑北中学校の浄化槽改修工事等を行います。
文化会館管理運営費（臨時）

220万円

ホール天井部分の非構造部材を点検します。文化の小径案内看板の修繕工事を行います。
その他体育施設管理費（臨時）

410万円

総合グラウンド野球スタンドの防水工事、トイレの洋式化工事等を行います。

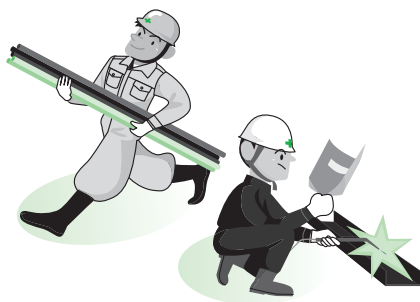
反対討論

歳出の大半は、本来、当初予算にて計上すべき事項である。また、本定例会の質疑にて、新たに多額の繰越金も判明した。街路灯の設置、巡回バスの導入、児童館建設に係る調査などの住民の要望に対して、この財源が、有効活用されていない点を指摘する。
積極的に住民の要望に応える予算編成を求め、反対とする。

賛成討論

歳出の主なものは、保育所施設整備工事、児童遊園整備工事、村田転倒せき改修工事、防犯カメラ設置工事、柏森東山緑地公園整備工事、地域防災計画の更新、備蓄倉庫設置工事などである。
町民の福祉、安全、環境、防災などに係る対策を基軸とした内容であり、極めて適正と認めて、賛成とする。

全国一律の最低賃金制度の確立を求める 陳情書など4件を採択



条例等の 主な内容と結果

▼扶桑町国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例

地方税法施行令の一
部改正に伴い、条例を
一部改正します。

〔賛成全員で可決〕

陳情の結果

■全国一律の最低賃金制
度の確立を求める陳情
書

〔賛成全員で採択〕

■適正な労働環境を確保
できる公契約法の制定
を求める陳情書

〔賛成全員で採択〕

■労働時間・解雇規制で
人間らしい働き方を求
める陳情書

〔賛成2人反対12人
で不採択〕

■住民の安全・安心を支
える行政サービスの充
実を求める陳情書

〔賛成2人反対12人
で不採択〕

■地方財政の拡充を求め
る陳情書

〔賛成全員で採択〕

■マイナンバー制度の中
止と廃止を求める陳情
書

〔賛成2人反対12人
で不採択〕

■安全保障関連法（戦争
法）の廃止を求める陳
情書

〔賛成3人反対11人
で不採択〕

■福祉・保育人材確保対
策に関する陳情

〔賛成全員で採択〕

※採択した陳情に基づき
可決した意見書は、14
頁に掲載しています。

小淵・東川コミュニティに宝くじ助成金 備品購入に各250万円補助

5月臨時会 を開催

平成28年5月19日(木)に、
臨時会を開催し、人事案
件等（議会だより第22
6号参照）のほか、一般
会計補正予算の審議を行
いました。

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、
歳入歳出それぞれ531
万円を追加し、総額93億
5331万円となってい
ます。主な内容は、次の
とおりです。

〔賛成全員で可決〕

歳出
(万円未満切り捨て)

地域自治振興費（臨時）

500万円

自治総合センターコ
ミュニティ助成金（宝く
じ助成金）を受け、小
淵・東川コミュニティの
備品購入に対し補助をし
ます。

道徳教育の抜本的改善・
充実に係る支援事業費

31万円

小学校では平成30年度、
中学校では31年度から道
徳が教科化されることに
対して、指導方法や評価
の研究を行う事業です。
県による全額補助にて、
扶桑北中学校が指定を受
けました。



道徳の教材等

委員会の審議から

総務建設常任委員会

問 第5次扶桑町総合計画（2頁参照）策定に係る町民会議の設置目的は、また、策定の進め方は。

答 町民会議は、ニーズの把握を目的として、公募等を行い、本年11月に第1回の会議を予定している。また、様々な年齢世代、職業等による多様なニーズを把握するため、アンケート調査も行い、素案を作成する。

問 防犯カメラの設置を増やす予定はあるのか。

答 地区から要望・相談をいただき、設置の補助

を行う「補助金交付」を本年度から始めた。現在、3地区からの申請がある。本補助金の有効活用を進めていきたい。

問 カーブミラー等の設置要望に係る補正予算がないが、当初予算で全て対応できるのか。

答 2年に1回の地区要望の他、随時の要望も受けている。当初予算にて、すべて対応できるとは、考えていない。現時点では、要望回数、現場状況を勘案して、予算の範囲内で施工している。

問 用水路と排水路の機能を持つ村田排水路の改



改修事業が予定される村田排水路

修事業に、都市計画税（※都市計画事業に充当する目的税）を充当する理由は。

答 本改修事業は、雨水下水を排水する都市施設の改修事業である。事業地は市街化区域であり、流入する雨水下水の100%近くが市街化区域からのものである。

福祉文教常任委員会

問 保育園のエアコン入れ替え工事の担当課は。また、有資格の職員が関わっているか。

答 設計等は福祉児童課、入札等は総務課が行う。福祉児童課には、建築技師が配属されている。

問 保育園の厨房設備等入れ替え工事の詳細は。

答 入れ替え器具別には、シンクが山名保育園、フライヤーが高雄・山名保育園、消毒保管機が高雄保育園を予定する。

問 放課後児童クラブに配置するパソコンの用途は。また、インターネット

ト接続の有無は。

答 クラブだよりと連絡事項を記す配布物の作成、名簿管理等である。セキュリティ上の観点から、すぐのインターネット接続は、考えていない。

問 児童遊園の防球ネットの設置基準はあるか。

答 明文化されたものはない。主に、家屋にボールが入る可能性のある所を中心に考えている。

問 本年度の学校教育施設建設基金の取り崩しの予定は。

答 山名小学校のエアコン設置工事、扶桑中学校



民家に隣接する児童遊園

の体育館改修工事にて、約2500万円を予定する。

問 わくわくスポーツフェスタの開催趣旨は。

答 小学生を対象に、バレーボール等9種目を予定する。経験者が対象ではなく、各種目をアレンジしたものを体験して、スポーツの楽しさを知っていただく機会とする。





桑政クラブ
市橋茂機 議員

「町長の所信表明」は

答 「元気なまちづくり」を町民目線で



扶桑町役場

問 千田町長には、4月24日執行の町長・町議会議員同日選挙において、多大なる町民の信任を得られました。

町長就任、おめでとうございます。

町長には、町政環境が厳しく、複雑さを増す状況にあるが、経営感覚と現場主義で、町政運営の舵取りを安全に取っていただくようお願いする。

「元気なまちづくり」は、人であり、子どもの健やかな成長がカギである。」

との所信表明で、町長の「子どもの居場所づくり」としての「児童館整備」についてお聞きする。

答 放課後子ども総合プランに基づく放課後児童の居場所に関する全体構想を策定するなかで、検討を進める。

問 「企業誘致」で「高雄東部地区」の調査が、民間開発で示されたことから凍結されました。今後の考えをお聞きます。

答 「産業流通ゾーンの土地利用構想検討業務」につきましては、国土交通省による国道41号線6車線化事業により、沿線の土地利用価値が上がり、企業立地の需要が増えることが想定される。本町としては、土地利用計画や企業誘致実現に向け検討する。

問 「町民の健康」施策では、「がん検診の充実や検診機会の提供・拡充」にどのような取り組みを示されるか。がん検診に関心をいただくために、どのような考えをもっているか。

答 胃がん検診に内視鏡検査を追加し、20歳の女性に対しては、子宮頸がん検診、40歳の女性に対しては乳がん検診の無料クーポンを配布し、積極的な受診を呼びかけている。また、50歳以上の男性を対象に、前立腺がん検診を実施し、受診需要に応じて定員を増やした。

今後、各検診について、医療機関の協力のもとに、受診機会の拡充を図る。

問 「町民はお店や病院等は選択できるが、役場は選択できない。」旨、申し上げ、最後の質問を行う。

「町民目線の身近な役場」に関しては、町長が以前の議員の立場で、感じたことではないか。

「町民目線の身近な役場」の指針を伺う。

答 町民の立場で行政運営に努める。

職員の接遇では、「気持ちを持ち」「もてなしの心を込め」、相手の立場になり丁寧な対応に努める。また、行政報告、住民説明会はもとより、広聴活動を充実させ、的確な情報提供に努める。



組織改編と人材育成が必要では



民進党
矢嶋恵美 議員

答 企業誘致推進のためにも、組織改編は必要と考える

所信表明から伺う

問 子育て支援にて子どもの居場所確保は、国策で必須課題である。町長の考えは。

答 私もそのように考える。放課後児童クラブや児童館の整備などは、私は確実に「やっていくつもりである。今後は、担当部局と相談する。」

問 「放課後児童クラブ」と「放課後子ども広場」の連携と方向性は。

答 それぞれのスペース不足を解消するため「放課後児童クラブ全体構想策定支援」を業務委託して、今後の整備方針や概要を策定していく。

問 児童館整備の機能と役割をどう考えるか。

答 放課後児童クラブの重要な機能でもあると考えるが、具体的には放課後子ども総合プランの中で考える。

問 不登校児のためのICTが使える施設整備は、施設整備は、特に考

えていないが、スクールソーシャルワーカーを配置して、相談体制の整備を検討する。

問 放課後児童クラブ支援員の量と質の確保は。

答 平成27年度の「愛知県放課後児童支援員認定資格研修」に3名参加した。今後も退職教員に支援員確保を働きかける。

問 子どもの約6%はいるとされる発達障害児の専門対応に、ほぼ県内全市町村にいる「発達障害支援指導者」が、本町に不在では。

答 町職員では、いない。今後、県研修が再開すれば、予算の検討をする。

問 県が「子育て世代包括支援センター」県内全市町村設置促進に取り組みとしていることについて、本町の見解は。

答 今後の課題とする。

問 子育て支援は、ハードの施設整備だけではなく、様々な角度のソフトも含め総合支援が必要で



高雄東部を縦断する国道41号線

ある。多くの課題があるが、どう考えるか。

答 子育て支援は、大変重要なことであるので、しっかりと研究していく。

問 高齢者の生きがいのための具体策は。

答 シルバー人材センターでは、就労機会の拡大を図るため、国庫補助事業「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を実施。町も補助金を増額する。

問 高雄東部地区・産業流通ゾーン土地利用構想の状況と航空特区関連は。

女性活躍推進法

問 女性管理職が必要である。現状と今後は。

答 本町に女性管理職は、いない。離職を防ぎ適切な昇任と人材育成を行い、積極的に登用していく。

答 国道41号線6車線化事業などで土地利用価値も上がる。町としても早急に進める。企業誘致も具体的には進捗していないが、検討を始めている。特区指定については、進展次第にて愛知県等と調整していく。

汚水適正処理構想見直しの現状は



桑政クラブ

大河原光雄 議員

答 コスト、地域特性を考慮し、見直しを検討する



下水道整備工事

問 「扶桑町汚水適正処理構想」は、費用単価や集合処理の妥当性の評価等にて見直すところ。現在の汚水処理人口普及率は。

答 平成27年度末現在、下水道36・4%、合併処理浄化槽21・1%、合計57・5%である。

問 概成目標に変わりはしないか。

答 今後10年で下水道工事を行う区域は基本的に変わらないが、町の財政状況や社会情勢の変化で見直しもあり得る。

問 コスト縮減の技術や工法の検討はされたか。

答 マンホールを減らす工法や維持管理上問題のない箇所への小型マンホールの設置、掘削深度を浅くする工法の採用や処理分区の見直しの検討も行っている。今後も新しい工法や技術の採用を研究、検討して、普及率の大幅アップを図りたい。

問 整備計画策定において、地域特性の考慮や住民要望への対応は。

答 地域特性は、地域の人口密度、年代別人口、

将来の人口予測、合併処理浄化槽の設置状況等を考慮している。見直し案は、担当課窓口や町ホームページで公表して、意見の募集を行っている。

問 住宅密集地における集中浄化槽の現状、住民の下水道整備への期待は、把握しているか。

答 町内では3地区に集中浄化槽があり、いずれの地区も設置から50年以上経過し、老朽化が問題になっていることは承知しているが、いずれも市街化調整区域であり、下水道整備には長い期間を要する。

問 住民の方は、集中浄化槽の稼働状態を常に気にしながら維持管理に努めている。早期に下水道整備できない地区の暫定整備に、補助金の制度はあるか。

答 100万円を上限として、集中浄化槽および付帯設備の改修費の4分の1を補助することが可

能である。

スポーツ施設の整備は

問 北部グラウンドの東側バックネットが小さいため、場外球が多く危険との指摘がある。安全面から更新が必要と思う。見解は。

答 耐用年数等も考え、適切な時期に更新できるように整備計画を進める。

問 町民プールの老朽化に伴う改修の検討は。

答 建設から40年以上経過しており、長期的な財政計画に基づいて活発に議論する必要がある。

問 「わっと楽しくスポーツふそう」のNPO法人格取得とその後の支援は。

答 今年度末までに事務手続きを行い、来年度からのNPO法人活動を目標にしている。社会的な信用を高め、自主自立して円滑な運営ができるように、行政もできる限りの支援をしていく。

今後の防災訓練のあり方は



公明党
佐藤智恵子 議員

答 内容や開催日等、検討していく

問 熊本地震の教訓を生かし、本町の地域防災計画の見直しを早急に行うべきではないか。その認識と対応は。

答 過去の大災害は、それぞれ特徴を持っている。それらをすべて網羅することは困難だが、どの災害においても、職員や被災者の初動は共通するものと考えている。そのような点について、再確認していく。

問 町内にある32の自主防災組織は、ほとんどが机上の組織で十分機能しているとは思えない。より実効性のある組織に成長できるように、後押しできないか。また、防災リーダー等の人材育成についての取り組みは。

答 毎年行う自主防災会会長会議などを利用した情報交換会やNPOとの連携などにより、防災に対する行動意識を高めることを進めていく。防災リーダー育成も同様に、

多様な働きかけをしていきたい。

問 防災リーダーや防災士の資格を持った職員はいるか。

答 把握していない。

問 本町では、毎年9月1日に防災訓練を行っているが、より多くの方が参加できるように、内容も含め工夫できないか。

答 長年、防災意識の再確認をする機会として、防災の日に毎年訓練を行ってきた。職員、住民ともに、初動について、身につけることや確認することなどたくさんあると認識する。今後、現在の防災訓練のあり方を検討していく。

問 熊本地震では、連続して起こる余震等で、多くの方が車中泊を余儀なくされている。本町でも起きうる事だが、対応は。

答 分析、研究して、形に表していく。

問 福祉避難所の拡充はできないか。

答 実際に災害が発生した場合に備えた対策を実施していきたい。

問 避難所となる公共施設に、WIFI機能が整備されているところはあるか。

答 整備していない。

食品ロス削減する取り組みは

問 教育現場で食品ロス削減のために、取り組んでいることはあるか。

答 給食委員会の子ども



扶桑町役場にて備蓄されるアルファ米

達が主体的に「残菜0キャンペーン」「牛乳飲み残り0キャンペーン」などを行っている。今後とも内容を研究、実践、更なる継続、発展ができるように進める。

問 防災用の未利用備蓄品を有効活用ができないか。

答 主にクラッカーやアルファ米を無駄にすることなく、フードバンクに提供している。



桑政クラブ

澤田憲宏 議員

村田排水路の整備工事計画は

答 本年度より、暗きょ化と転倒せきの工事に着手



犬山市との境から村田排水路を臨む

問 本年度の工事、次年度の計画は。

答 木津用水路の放流口改良に合わせ、排水路本体の治水としての機能向上と暗きょ化による歩道整備を計画している。本年度は、北郷交差点付近から上流へ約430mを10月に工事着手、平成29年度はさらに上流部（犬山市）、30年度は木津用水路放流部分から北郷交差点部分の下流域、31年度に犬山市内の最上流部の工事を予定する。

問 都市計画道路として

北新田地区に送る水の量を軽減する。降雨時の水害等を防ぐことが期待できる。

問 の歩道整備は可能か。

答 今回の工事は公共下水の雨水対策事業である。犬山市の意向も確認しながら検討していく。

問 村田排水路の町境付近の水門は、どうするか。

答 暗きょ内に収まる油圧式の転倒せきを採用する。せきに一定の圧力がかかるると自動的に転倒し、排水路本線へ雨水を流し、

排水路本線へ雨水を流し、北新田地区に送る水の量を軽減する。降雨時の水害等を防ぐことが期待できる。

問 農業用水路の水質状況は現状は。

答 毎年6月と12月の年2回、調査を行う。すべての調査地点（般若用水、丹羽用水、青木川、木津用水、合瀬川）にて、おむね良好であるが、BOD（生物化学的酸素要求量）の値が、ここ数年

高く推移し、監視が必要である。

問 苦情とその対応は。

答 汚濁水の排出者に対して本町による改善指導、愛知県による行政指導を行う。また、各水路管理者が年2回の雑草除去、清掃活動を実施している。

ふそう環境まちづくりランの活動状況は

問 自然と共生するまちの取り組みは。

答 平成22年3月に扶桑町環境基本計画を策定。年2回環境審議会を行い、活動状況を報告。豊かな自然をめぐむまちを目指す中で、樹木や田畑の

減少、河川・農業用水の汚染などにより、豊かな緑、きれいな水などの自然が失われつつあるため、自然の保護や創出に努めていく。今年度は、生涯学習講座「合瀬川のいきもの探検隊」にて調査を行い、生き物マップを作成する。

問 アダプトプログラム活動と行政支援は。

答 本町では、身近な公共空間である道路・河川・公園・緑地等の公共施設の里親になり、施設の美化及び清掃活動をアダプトプログラムとして実施している。現在、地域で10団体、学校で3団体、事業所で10団体が里親となり活動されている。活動場所にサインボードを設置、竹ぼうき、軍手などを支給している。今後、活動のPRは、広報紙やホームページに掲載を考える。

大規模災害における 行政のあり方は



桑政クラブ
和田佳活 議員

【答】「防災訓練」のあり方も含め、 今後検討する

問 近年、大規模災害が発生しているが、本町においてどのような災害を想定し、どのような課題を持っているのか。

答 扶桑町地域防災計画では、「風水害等災害」「地震災害」「原子力災害」に分類し、それぞれ災害の想定を行い、毎年見直している。具体的な災害を想定して、多様な対応を考えなくてはならない。

しかし、災害というのは想定どおり起こることはまれであり、被災した段階で、ほぼ想定外というのが常である。想定していない災害が起きた場合に、どのような対応ができるのか、大きな課題となる。

問 初動対応における危機管理体制は、どのようなになっているか。

答 非常配備の準備態勢から順に、災害対策本部設置、各種非常配備と災害の程度により体制を敷いている。被災した季節

や時刻、天候など様々な想定が必要となる。地域防災計画においては、過去の地震、理論上の最大想定などのモデルに基づき、各機関の行動指針が記してある。

問 初期対応においては、行政、地域、関係機関が同時に「共動」のものと対処しなければならぬ。

防災訓練は「防災の日」である9月1日に行っているが、日にちにこだわらず、各所の力をつけるために目的と内容に沿った訓練が必要ではないか。

答 防災意識の再確認をする機会として、関東大震災が発生した日に防災訓練を実施している。内容は、様々なマイナーチェンジを行っている。

しかし、近年「マンネリ化」「実用に乏しい」「土・日曜日開催を希望」などの意見もある。訓練の目的、内容が明確になり、それに伴う日程の変更が必要となれば、日程

の変更は可能と考える。

問 6月5日、防災ボランティア組織が集結して、防災、減災につなげる防災発表会が開催された。柏森花立自治会自主防災会も加わり、合計6団体

にて、仮称防災協議会を設立する運びとなった。お互いの協力態勢を強化し、広域的な活動を目的としている。花立地区に

倣い、各地区の自主防災の育成にも取り組む計画である。行政としても、積極的に仮称防災協議会に参画されては、いかがか。

答 行政も防災発表会に参加して、内容も十分承知している。仮称防災協議会に参画して、自主防災の育成と強化に取り組みたいと考える。



平成27年度 扶桑町総合防災訓練



日本共産党

高木義道 議員

新興住宅の通学路の確保は

答 カラー舗装、通知看板を設置する

巡回バスの運行は

問 「みんなでつくり、守り、育てる公共交通」に積極的に取り組むことが提唱されている。巡回バスを求める声は、どの地域からも聞こえてくる。町長の見解は。

答 公共交通手段については、高齢者が増える中で必要である。現在のタクシー・助成券も一つのあり方である。巡回バスは、医療機関や買い物に必要だと推測する。民間企業では限界があり、どのような方法、どうしたら費用が少なく済むのかを考えてみたい。

小中学校のエアコンは

問 保育園のエアコン設置が完了し、山名小学校についても進められ、残りの小中学校についてもいち早く設置することが、学習環境整備、熱中症対策としても重要である。設置の必要性の考えは。

答 良い環境の中で、児童・生徒に学んでいただきたい。エアコンの設置は十分必要と考えているが、実施計画に反映できていない。残りの5小中学校については、今後重要な課題として受け止めている。早急に実施計画に反映できるよう考えていく。

通学路の安全確保は

問 南山名の西ノ山に新興住宅ができたが、歩道、通学路の確保について、考慮されていないか。住人の方から「保育園、小学校へ通う危険な道路を何とかしてほしい。」という要望が寄せられている。対応は。

答 町道南山名・高雄線に接続している町道が通学路となっている。町の将来を担う児童の安心・安全なまちづくりに向け、交通事故の抑制が重要と認識している。歩道空間の確保が必要であるが、用地費、家屋などの物件

補償が財政面から厳しい。新興住宅地から交差点までの80メートル区間にカラー舗装と通知看板を設置する。

新愛岐大橋の建設は

問 安全・安心なまち、住み慣れた地域でくらすことが重要であり、道路環境の整備は必要であるが、新橋の開通で交通量が増大し、一般生活道路への流入など問題点が多い。地元の同意が大前提

であり、住民が負担を強いられるようではないか。町長の所見は。

答 町が管理する周辺道路の基幹個所についての交通安全対策、雨水・排水対策など地域の現況改善について、意見交換がされている。県が実施する事業に合わせ、地域の課題について、しっかりと取り組んでいく。今後もし引き続き、地域のみならずのご理解、ご協力を得ながら進める。



南山名字西ノ山地内の新興住宅近辺

「経営感覚」「現場主義」とは



日本共産党
小林 明 議員

答 町民の変化をよく見て、
行政を進めること

問 千田勝隆後援会申込書でも、所信表明の中でも、行政の「経営感覚」とか「現場主義」と述べているが、地方自治体の役割を無視して、行政運営はできない。一般的に会社で言えば、経営感覚とは利潤を追求することである。地方自治体は、住民の福祉を増進するというのが、その役割である。町長の言う「経営感覚」というのは、どのような考えか。

答 経営感覚とは、役場組織の外と中の両方にバランスよく、目が行き届くことと考えている。役場職員が、町民を常に見て、変化を肌で感じ取り、さらなる福祉向上を目指すことが、行政運営の経営感覚と考える。

問 千田勝隆後援会申込書でも、所信表明の中でも、行政の「経営感覚」とか「現場主義」と述べているが、地方自治体の役割を無視して、行政運営はできない。一般的に会社で言えば、経営感覚とは利潤を追求することである。地方自治体は、住民の福祉を増進するというのが、その役割である。町長の言う「経営感覚」というのは、どのような考えか。

答 経営感覚とは、役場組織の外と中の両方にバランスよく、目が行き届くことと考えている。役場職員が、町民を常に見て、変化を肌で感じ取り、さらなる福祉向上を目指すことが、行政運営の経営感覚と考える。

問 千田勝隆後援会申込書でも、所信表明の中でも、行政の「経営感覚」とか「現場主義」と述べているが、地方自治体の役割を無視して、行政運営はできない。一般的に会社で言えば、経営感覚とは利潤を追求することである。地方自治体は、住民の福祉を増進するというのが、その役割である。町長の言う「経営感覚」というのは、どのような考えか。

答 経営感覚とは、役場組織の外と中の両方にバランスよく、目が行き届くことと考えている。役場職員が、町民を常に見て、変化を肌で感じ取り、さらなる福祉向上を目指すことが、行政運営の経営感覚と考える。

問 千田勝隆後援会申込書でも、所信表明の中でも、行政の「経営感覚」とか「現場主義」と述べているが、地方自治体の役割を無視して、行政運営はできない。一般的に会社で言えば、経営感覚とは利潤を追求することである。地方自治体は、住民の福祉を増進するというのが、その役割である。町長の言う「経営感覚」というのは、どのような考えか。

答 経営感覚とは、役場組織の外と中の両方にバランスよく、目が行き届くことと考えている。役場職員が、町民を常に見て、変化を肌で感じ取り、さらなる福祉向上を目指すことが、行政運営の経営感覚と考える。



江南丹羽環境管理組合
環境美化センターの焼却炉

町政を問う 「一般質問」とは

6月定例会では、新町長の所信を問う等の一般質問が、8名の議員から行われました。

扶桑町議会会議規則には、「議員は、町の一般事務について、議長の許可を得て、質問することができます。」旨が記されています。

質問内容は、行政全般にわたり可能であり、執行機関（町）の所信（施政に関する考え方）や疑義を問います。

問うた目的は、執行機関（町）の行政運営の姿勢を明らかにして、質問する議員の目指す政策を採用させるべき道筋をつくる等があげられます。

また、一般質問は、通告制となっています。議会の本会議にて、質問と答弁とが、十分にかみ合うようにすることが目的です。質問する議員は、

事前に、質問内容を具体的にまとめ、「一般質問通告書」を議長に提出します。議長は、一般質問の要旨を把握して、スムーズな議事進行に努めます。また、執行機関（町）は、一般質問の内容を理解して、的確な答弁を心がけ、十分な準備を行い、本会議に臨みます。



扶桑町役場 議場
写真中央の「発言席」にて質問者は発言します

福祉文教常任委員会 行政視察の準備

扶桑町議会の各常任委員会、各会派は、先進事例や類似市町村等の事務事業の実情を把握する等を目的として、他市町村等への行政視察を実施します。

第29次扶桑町議会において、福祉文教常任委員会が初めて、行政視察に臨みます。

事前に、質問内容を具体的にまとめ、「一般質問通告書」を議長に提出します。議長は、一般質問の要旨を把握して、スムーズな議事進行に努めます。また、執行機関（町）は、一般質問の内容を理解して、的確な答弁を心がけ、十分な準備を行い、本会議に臨みます。

5月下旬

行政視察の目的を「放課後児童クラブと放課後子ども広場の連携」「総合福祉窓口」等の調査に決めました。

6月上旬

本件に関して、先進的政策・施策にて課題クリアを図る市町村、かつ、



扶桑町役場 議員控室
6月定例会の日程と併走して、行政視察の準備を進める福祉文教常任委員会。

6月中旬

人口・財政規模、地勢等が類似する市町村に、行政視察の受け入れを交渉しました。先方の議会活動・行政活動の都合を伺う等、なかなかの難交渉でした。交渉不調の都度、正副委員長は、再三、候補地を検討しました。

7月中旬

内諾を得た後は、事前の研究を進め、視察先へ送付する質問事項書を作成しました。

諸般の準備を終え、大分県中津市、福岡県大野城市へ行政視察を実施します。次号にて、行政視察の報告をお届けいたします。

6月議会で可決した意見書

- 最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書

〈提出先〉 内閣総理大臣 厚生労働大臣

- 適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書

〈提出先〉 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣

- 地方財政の拡充を求める意見書

〈提出先〉 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣

- 国の責任による福祉・保育の人材確保対策を求める意見書

〈提出先〉 内閣総理大臣 厚生労働大臣

- 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書

〈提出先〉 内閣総理大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 環境大臣
消費者担当大臣

★ 意見書の全文は、扶桑町ホームページ(扶桑町議会)に掲載しています。★

お知らせ

あなたも議会を
傍聴してみませんか
9月定例会は →



詳しくは議会事務局まで
TEL 93-1111 内線322

9月定例会の日程(予定)

9月2日(金)	開会・提案説明
9月8日(木)	一般質問
9月9日(金)	一般質問
9月12日(月)	議案質疑
9月13日(火)	議案質疑
9月14日(水)	議案質疑
9月15日(木)	総務建設常任委員会
9月20日(火)	福祉文教常任委員会
9月29日(木)	委員長報告・討論・採決・閉会

「会議録検索システム」 インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会
会議録をインターネット配信して
いますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ
↓
扶桑町議会
↓
扶桑町議会
会議録検索システム

